

指定管理者制度導入や

公共施設の休館日削減などを可決

議員提出議案 市議会会議規則の一部を改正する規則や意見書を可決



▲6月定例会の議案を慎重審議（右上は議長）

6月定例会では、市長提出議案である、市税条例の一部を改正する条例の専決処分など4件の報告案件と、平成18年4月1日からの指定管理者制度導入及び本年10月1日からの公共施設の休館日削減を盛り込んだ条例改正や、農業委員の定数改正など25件の条例案件、美谷本小学校給食調理場増築建築工事と上戸田川浄化施設（土木）工事の請負契約2件、そのほか市道路線の認定や2件の規約改正、さらには一般会計などの補正予算3件の、合計37件が提案されました。

本会議での説明、質疑の後、付託された各常任委員会では、細部にわたって慎重に審査を行いました。

その結果、専決処分の報告2件については承認し、その他の議案は、すべて原案どおり可決しました。

主な議案等

◎指定管理者制度導入に関する一部改正

左記(①～④)の公共施設管理を指定管理者に行わせるために、指定管理者の指定の手続(申請方法、事業計画の提出等)、管理の基準(休館日、開館時間、



▲市民の皆さんのための公共施設

また、人事案件として、固定資産評価審査委員会委員及び固定資産評価員の選任についての提案があり、いずれも同意しました。

そのほか、議員提出議案としては、「市議会会議規則の一部を改正する規則」と、「鉄道事故再発防止と安全運行を確保するための法整備を求める意見書」、「真の地方分権改革の早期実現に関する意見書」、「地方議会制度の充実強化に関する意見書」の4件が提出され、いずれも原案どおり可決しました。(13頁参照)

なお、今議会に提出された「委員会の参考人招致を求める請願」と「本町5丁目14番「JR社宅跡地」の開発に関する請願」については継続審査となりました。

◎休館日削減となる施設

男女共同参画センター、福祉センター、勤労福祉センター、こどもの国、公民館、図書館・郷土博物館

◎農業委員会委員に関する条例改正等

農業委員会等に関する法律改正による見直しで、

- ①議会推薦委員を2人とする
- ②選任委員の推薦団体を3団体とする
- ③選挙による委員を10人から9人に削減する

◎市税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、

討論

提出された議案審議の最終段階で、賛成や反対の意見を述べたことを「討論」といいます。本定例会の最終日に、次の議案に対して討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決しました。その要旨は次のとおりです。

市税条例の一部を改正する条例

賛成 日本共産党 本田 哲議員

この間、公的年金等控除の縮小、所得税の老年者控除の廃止が実施され、さらに今回の65歳以上の高齢者に対する住民税非課税措置の廃止は、低所得高齢者の生活を脅かす重大な問題です。しかも、この条例改正によって、介護保険料の値上げにもつながります。

日本共産党は、高齢者への二重三重の負担増の見直しと中止を求めてきました。よって、本条例改正に反対するものです。

農業委員会委員の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例

条例改正案において「選挙による委員」定数1名減とうたっていますが、団体推薦委員が1名増員されることにより、現状の体制が維持されることとなります。

本市における農業の置かれている現状は、必要設置面積を大幅に下回っており、農業委員会の大規模縮小がなされるべきと考えます。

従って、「戸田市農業委員会」の選挙による委員定数は、もっと踏み込んだ削減がなされるべきであり、反対するものです。

おめでとうございます 永年勤続議員表彰



神谷 雄三 議員
奥田 実 議員
石井 民雄 議員

毎年、全国市議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された市議会議員に対して表彰が行われます。

本年度は、本市議会から20年表彰を、神谷雄三議員、奥田実議員、石井民雄議員が受賞されました。

市議会では、6月定例会の冒頭に、議長からこのことを伝達するとともに、その功績をたたえました。また、戸田市議会議員表彰規程による表彰も併せて行いました。

固定資産評価審査委員会委員及び 固定資産評価員の選任に同意

- ◎固定資産評価審査委員会委員 中島孝雄氏（再任）
- ◎固定資産評価員 河合悦治氏（新任） 市民生活部長

◎工事請負契約

- 美谷本小学校給食調理場増築建築工事請負契約
- ①工事内容…鉄筋コンクリート造り、平屋建て（一部3階建て）
- ②金額…1億9530万円
- ③工期…契約締結日の翌日から18年3月24日まで
- ④契約者…三ツ和総合建設業協同組合
- ※給食調理室600食対応
- 上戸田川浄化施設（土木）工事請負契約

◎一般会計補正予算

- ①工事内容…浄化施設工（曝気付礫間接触酸化法）、取水施設工
- ②金額…2億370万円
- ③工期…契約締結日の翌日から18年3月24日まで
- ④契約者…若築建設株式会社 社埼玉営業所
- 歳入歳出それぞれ1億6318万1000円を追加するもので、主なものは次のとおりです。
- ①上戸田地区に保育所建設を行う社会福祉法人に対する補助金。
- ②戸田公園駅西口駅前通り

◎公共下水道事業特別会計補正予算

前年度繰越金や、下水道施設実施設計等委託料の計上です。

◎老人保健特別会計補正予算

議事は速記から録音の方法により記録するなどに改めてたものです。

◎市議会会議規則の一部改正

平成16年度老人医療費の支払基金実績報告書の精算による返還金です。

◎専決処分

市税条例の一部を改正する条例、国民健康保険特別会計補正予算、損害賠償の額を定めることについて、一般会計繰越明許費繰越計算書の報告です。

討論

提出された議案審議の最終段階で、賛成や反対の意見を述べたことを「討論」といいます。本定例会の最終日に、次の議案に対して討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決しました。その要旨は次のとおりです。

市税条例の一部を改正する条例

賛成 日本共産党 本田 哲議員

この間、公的年金等控除の縮小、所得税の老年者控除の廃止が実施され、さらに今回の65歳以上の高齢者に対する住民税非課税措置の廃止は、低所得高齢者の生活を脅かす重大な問題です。しかも、この条例改正によって、介護保険料の値上げにもつながります。

日本共産党は、高齢者への二重三重の負担増の見直しと中止を求めてきました。よって、本条例改正に反対するものです。

農業委員会委員の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例

条例改正案において「選挙による委員」定数1名減とうたっていますが、団体推薦委員が1名増員されることにより、現状の体制が維持されることとなります。

本市における農業の置かれている現状は、必要設置面積を大幅に下回っており、農業委員会の大規模縮小がなされるべきと考えます。

従って、「戸田市農業委員会」の選挙による委員定数は、もっと踏み込んだ削減がなされるべきであり、反対するものです。